

# 技術士 2 次試験に合格して



**植田 琢也**  
(うえだ たくや)

## 勤務先

### 株式会社ルーラルエンジニア

〒001-0010 札幌市北区北 10 条西 3 丁目 NK エルムビル  
TEL 011-726-2411 FAX 011-757-2700  
E-mail ueda@rural.co.jp

■ 専門：農業部門(農業土木)

## 1. 自己紹介

私は 1984 年(昭和 59 年)深川市で生まれました。小学校から大学までは札幌市で過ごし、2007(平成 19 年)に北海学園大学工学部社会環境工学科を卒業後、深川市に本店をおく株式会社ルーラルエンジニアに就職しました。

職場では主に、揚水機場の設計、ほ場整備の設計に従事しています。

昨年度、技術士農業部門(農業土木)に合格することができました。

今回、合格に至るまでの経緯等を述べさせていただきます。

## 2. 技術士との出会い

私が“技術士”という資格を知ったのは大学生時代でした。その当時、JABEE 制度の認定を得るために大学が審査を受けるとい旨の説明会があり、卒業必要履修単位が、認定を受けるために増えたことで不満を口にしていたことを覚えています。

しかし、今にして思えばそのおかげで、JABEE の恩恵を受け 1 次試験免除となりました。

職場では毎年 4 月に資格取得社内研修があり、会社としても技術士取得を推奨していました。

## 3. 技術士チャレンジまでの経緯

これまでに、平成 26 年度に 1 級土木施工管理技士、平成 27 年度にコンクリート診断士を取得しました。次に何をを目指すかという話が社内面談で話題となり技術士を受験することとしました。

技術士の受験に当たっては、技術士補が建設部門であったこととコンクリート診断士の知識を生かせるであろう“建設部門鋼構造及びコンクリート”が業務の中心である“農業部門農業土木”のどちらを受験するか悩みましたが、業務経歴を考慮し“農業部門農業土木”を受験することとしました。

## 4. 技術士 2 次試験

平成 30 年度が択一式の最後という情報があり、合格するなら今回しかないという強い気持ちで勉強を開始しました。

○筆記試験について

・必須科目：択一問題

勉強方法は、日本技術士会 HP には解答の解説がないため、食料・農業・農村白書を活用し解答作りをしました。あとは解答作りをした過去問を何度も繰り返し読むというものでした。

・選択科目：記述問題

選択科目Ⅱ、Ⅲを区分して勉強はせず、合わせて勉強しました。

農業部門は、記述式の解答例の参考書が出版されており、それを参考に記述の書き方を覚えました。

過去問は、設問傾向、出題傾向の確認に使う程度で、主に、キーワードの整理に時間を費やしました。

結果は、必須科目の択一問題がボーダーラインでしたが、合格ラインに達することができました。

○□頭試験について

□頭試験の対策は、①筆記試験(記述問題)の復元、②業務経歴および業務内容の詳細を 5 分程度の話し言葉で再構成し暗記、③□頭試験想定問題(Q & A)を作成、①～③を準備し職場の先輩技術士の協力もあり模擬試験をたくさん実施していただきました。

## 5. 今後について

資格取得に満足することなく自己研鑽を継続し、プロフェッショナルな技術者として、業務を遂行し会社はもちろん、北海道農業に貢献したいと思っています。最後に、受験にあたり支えてくださった職場の皆様と家族に、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。